

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、鴨江圏域） 第1回会議 議事録

開催日時	令和5年7月27日（木）9時30分から11時自15分まで
参加者	委員：14人 事務局：12人
場所	浜松市福祉交流センター 43・44 ギャラリー
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 新任委員・関係機関 紹介</p> <p>3. 協議内容</p> <p>(1) パワーポイント資料を用いて、昨年度の振り返りをした。</p> <p>昨年度マップ作りを終え、第2回ではコロナ過における個人や地域での活動についてグループワークで情報共有と行った。第3回では「はままつし健幸クラブ（アプリ）」の紹介や健康づくりを普及していくためにどのようなことが考えられるか、グループホームで意見交換を行った。</p> <p>(2) パワーポイント資料を用いて、今年度の方向性について提案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり、見守り、外出の機会、課題の予防という4つのキーワードが相互的に関係している。</li> <li>・高齢者の状況、地域の世帯区分別高齢者人口について情報共有</li> <li>・高齢者の食生活、こころの健康、他市で行われた栄養出前講座等の状況共有</li> <li>・今年度始まった地域での活動の紹介</li> </ul> <p>4. 各地区でのグループワーク</p> <p>《西地区》</p> <p>* グラウンドゴルフにしてもラジオ体操にしても既に地域で取り組んでいる。鴨江小・西小・西部中のグラウンドを使用して実施している。皆勤賞や各種賞を作って継続して参加してもらうよう工夫をしている。課題としてはメンバーが固定化してきており、新しい方が入りにくい環境のように感じる。</p> <p>◎折角 3 地区で集まっている、グラウンドゴルフはどの地域でも取り組んでいるので、地域を超えた交流として、グラウンドゴルフ大会など実施できたらどうか（年齢別・キャリア別など）</p> <p>* 地域活動・地域の福祉活動を企画する際には、その背景や意味合いも含めたきっかけづくり、仕掛けを考える必要がある。様々な仕掛けのツールを協議体でも情報発信できれば良い。</p> <p>* コミュニティスクールの取り組みにて、裁縫・野菜を育てる・花壇の世話など、シニアクラブがサポートできないか打診があった。子どもたちとの交流にもなり、高齢者の張り合いづくりにもつながる。</p> <p>* 地区社協も地域団体 コロナ以前は常に関わりながら様々な活動が進められていたがコロナ禍でつながりが薄くなった。</p> <p>◎花の世話などは手間がかかる分、生きがいがづくりや交流になっていくのでは</p>

\*シニアクラブなどに関わっている方はいろいろなつながりができるが、つながりのない方のことを考える必要がある。

情報をキャッチすることが難しい方にどうアプローチしていくか。

\*男性だけの世帯は、出来合い物（総菜）で自分の好みのものに偏りがち  
栄養も偏りがちになるのではないか。

\*配食サービスなどは栄養のバランスが考えられており、減塩のものもある  
安否確認の社会資源にもなっている。

\*こども食堂が広がっている、大人食堂のような取り組みもあると良いかも  
飲食店の協力など手間のかからない方法で取り組みができないか。

\*愛知県では、飲食店と協力して選べる配食サービスが実施されていた。

\*近年ではデイサービスでも食事が選択できるような所もある。自分で選べることは  
良いこと。

#### 《県居地区》

\*成子町ではシニアクラブが月に2度ほど活動をしている。

凧揚げには古くから住んでいる家庭の人は参加し、新しい人たちはあまり参加でき  
ていない様子がある。過去に地域の子どもたちとシニアクラブの方とで室内ででき  
る野球を行ったことがある。子どもたちと一緒に保護者も参加し、中には祖母と孫  
で参加している家族もあり、盛り上がったという。

その野球の時には普段は凧揚げに参加しない家庭も参加されていた。

\*夏休みの10日間地域住民を対象にラジオ体操をする。

それ以外にも西部中学校でもラジオ体操をやっているが、参加者のほとんどが高齢  
者。若い人も参加できるといい。若者は高齢者との交流を望んでいるというデータ  
もある。東伊場ではシニアクラブがあり、子ども会と並んで自治会の下部組織にあ  
たり、自治会から助成金も出ている。また、東伊場には壮年会というシニアクラブ  
より若い世代の人が参加している集まりもある。

\*高齢者を対象とした行事等の際に訪問し話をするが、地域の集まりに参加しない人  
は何をしても参加しない。→昼食や軽食などを出して参加を募ったらどうか？

\*全く外出をしない人に対し、外出するように呼びかけるのはかなり難しい。

そのため、まずは配布物で健康づくりについて呼びかけるのはどうか。

◎古くから住んでいる人が多くいる地域で、新しく越してきた人やアパートに住む人  
はなかなか地域活動に参加が出来ずにいる。すでにシニアクラブなども存在する  
が、同様に古くからの人がほとんどで新しい参加が少ない。ゆくゆくは地域の人が  
誰でも参加できるような居場所やサロンなどを作っていければと思うが、まずは配  
布物で呼びかける。

#### 《江西地区》

\*週3日のラジオ体操を行っており、30名ほどの規模となっており、各々の見守り  
を行っている。

\*三月会では、地域の行事は出来るだけ出席しましょう。と促しており、参加するこ

	<p>とで会の存在アピールとなっている。</p> <p>◎藤の会では昨年企画したイベントは50名集まった。(参加は他地区の方でも可とした)37クラブを招いた音楽イベントだった。遊びどころがあるものの方が、男性を引き込めるのではないかな。</p> <p>*お祭りなど周知しなくても集まる行事の際に告知をしたり、周知の必要な集いの情報を提供したらどうか。</p> <p>*婦人会から女性会等に名称を変更したりしても、役員回避のためか加入しない人もいる。</p> <p>◎子育て仲間やお茶呑み友達などの集まりをしている方を仲間として引き込みたいが、地元の学校を卒業していくタイミングで繋がりが一度途切れてしまうためなかなか把握しきれない。</p> <p>*食事の面では毎日10品目摂取を心がけている。アプリを使い不足している栄養がないか気にする様になった。男性の方にも料理教室や献立についての講座があったら興味を示してもらえるのではないかな。</p> <p>5. 事務連絡 第2回協議体会議日程 11月開催予定</p> <p>6. 閉会 鴨江圏域生活支援体制づくり協議体 会長</p>
<p>今後の見通し等</p>	<p>今回各地区に分かれグループワークを行った中で、委員より多くいただいた意見で、取り組みそうな声も多く出ていたと感じた。実現に向けて地区ごとに検討していく。</p>